

＜先週の説教から＞

『ヘブライ⑩ーもてなすころ』

武田真治牧師

創世記 18:1-10 ヘブライ手紙 13:1-8

この説教の前に讃美歌419番『さあ、共に生きよう』を歌いました。この“共に生きる”という言葉はキリスト教の学校や福祉施設などでよく用いられる標語です。クリスチャンとしての生き方をよく表していると言い得ます。ただ、実際に“共に生きる”ことを実践しようとするとなかなか困難も伴って来ることも私たちは経験してよく知っているのではないのでしょうか。今日の箇所は「兄弟としていつも愛し合いなさい」とあります。原文では「兄弟愛に留まりなさい」という言葉で、この兄弟愛(=フィラデルフィア)とは、神様を父として、私たちはみんな神様の子ども、兄弟姉妹として親しもうという教会の交わりの基本です。その上で「留まれ(メノ-の命令形)」と言われていることは、前提として、時にはこの教会の交わりから“離れたい”“辞めたい”と思ってしまうこともあるということなのです。確かに、教会の交わりがわずらわしいと感じたり、つれない言葉や態度を取られれば誰でも腹が立ちます。兄弟姉妹と言いながら、何もしてくれないという思いにもなるでしょう、人間の集まりですから。でも、この交わり=教会に「留まりなさい」と。それは自分が信仰を持ち続けるために必要だからと。考えさせられます。

以上の「兄弟愛に留まりなさい」こそが、この13章全体のメインテーマであり基本です。これ以降は、さらに心掛けてほしいことが示されて行きます。即ち「旅人をもてなすことを忘れてはいけません」「牢に捕らわれている人たちの思いやりなさい」「虐待されている人たちのことを思いやりなさい」です。これらは一義的には、当時の伝道者たちが旅をしながら伝道し、迫害を受けて捕らえられ、虐待されている現実から来ています。でも、それだけでなく、兄弟姉妹に限らずどんな人に対しても分け隔てなく“もてなしの心”を持つようにとの教えなのです。これらは今でもクリスチャンの姿勢として残る“もてなしの心”ではないのでしょうか？

ただ、最初に申しましたように、この『共に生きよう』は困難やリスクも伴うことも現実です。どのように折り合って行くかがいつも問われます。そして、その際に気を付けたいことがこの後の教えです。即ち「神は、みだらな者や姦淫する者を裁かれるのです」と「金銭に執着しない生活をし、今持っているもので満足しなさい」です。情欲や金銭欲に流されるなど。これらは私たちの“行き過ぎる貪欲”を戒めていると言い得ます。強欲は私たちだけでなく周りの人達をも巻き込んで“滅びを与える”からと。私はイエス様の『山上の祝福』にある「心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである」という言葉を思い浮かべます。

64 - 22

週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

【今週の集会】

*聖書研究・祈禱会 I. 5月 31日 (水) 20:00
II. 6月 1日 (木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈禱主題: 会堂掃除奉仕を覚えて
担当者: (水) 鹿野 (木) 森本
祈りに覚える人: 河合さん 木川さん

【教勢報告】

主日礼拝 男 19 女 57 計 76
祈禱会 I. 男 6 女 3 計 9 II. 男 1 女 8 計 9
日曜学校 幼稚科 7 小中 9 計 16
ひつじ雲の会 5月23日 男 0 女 5 計 5

【次週主日礼拝】 6月 4日 (日)

聖書: 詩編 118:1~9
ヘブライ人への手紙 13:5~9
説教: 「ヘブライ⑩ー キリストはきのうも
今日も変わらない！」 武田真治牧師
讃美歌: 18(1)、32、347(1~3)、517
(1~3)、463(1~3)、78(1と2)、29

【次週当番表】

司式: 羽倉長老 奏楽: 勝村 礼拝: 保坂長老
配餐: 飯田 茨木 岩佐 坂田
金刺 各長老
献金: 小岩 浦野 受付: 西尾 森本
会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田
看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後: ・会堂管理委員会 長老会
・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習

2023年 5月 28日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549
<http://www.ageo-church.org/>